

令和3年第8回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和3年8月20日	会 場	4階 第1委員会室	案 件	所管事項の調査
出席委員	高橋伸典、山崎真由美、黒井徹、佐藤靖、清水一夫、遠藤隆男				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

報告・調査事項審議

【1】名寄市立大学の運営について

1、令和4年度学生募集・確保について

令和3年度の第1回オープンキャンパスは、7月3日（土）Webにて開催し、125名の参加者があった。第2回オープンキャンパスは8月1日（日）に開催し、206名の参加者があった。第3回オープンキャンパスは10月16日（土）に開催の予定である。

〈質疑等〉

Q 地域枠内からのオープンキャンパスへの参加者は。

A 上川北部からの参加者は21名であり、うち名寄市内からは6名の参加があった。

Q 今後、コロナの感染状況が厳しくなった場合の対応は。

A 電話対応やオンラインに切り替えて積極的に進めていく。

Q コロナの影響により参加者数が減っている状況はあるか。

A 一昨年の8月と比べると道外からの参加者は減っている。

2、学生の就職活動の状況について

就職活動のサポートとして、予約制による相談やメールによる相談対応を行っている。各企業のオンライン面接に対応し、学内にオンライン機器の整備を行い、求人情報にもアクセスできるようにしている。

国家試験対策としては、模試や個別指導も行っている。現在のところコロナ禍前の採用状況を維持している。

3、名寄市立大学における職域接種について

職域接種として、1200人にモデルナのコロナワクチン接種を行った。

接種者の内訳は、学生638名・教職員等大学関係者161名・市指定の先行接種者401名であり、実習のために先に接種していた学生も含め、学生の接種率は84.7%となった。

【2】教育行政の推進について

1、小中学校施設整備について

① 智恵文義務教育学校整備事業

実施設計業務委託については、令和3年5月13日～令和4年3月18日を工期として柴滝建設設計事務所が3,520万円で、地質調査業務委託については、令和3年5月27日～令和3年7月15日を工期として、352万円で北都ボーリング株式会社が担当する。

校名、校章、校歌については、智恵文義務教育学校開校準備委員会にて協議していく。

② 名寄中学校・名寄東中学校施設整備事業

建物の劣化状況などを詳細に把握し、改築や改修、耐震補強等の施設整備に向けた検討を進めるために、令和3年6月10日～令和3年10月12日を工期として耐力度調査を行っている。

2、名寄市内高等学校魅力化推進委員会について

現在までに、委員14名とコーディネーター1名による名寄市内高等学校魅力化推進委員会を2回（6月22日、7月15日）開催した。また、両校（名寄高校・名寄産業高校）の教員で構成される統合推進委員会の提案により、第1回合同拡大会議を8月4日に開催、両校の生徒も交え新設校コンセプトの意見交換を行った。

今後は、年内に3回開催の予定である。

3、第4次名寄市子どもの読書活動推進計画の策定作業について

子どもが、いつでもどこでも自主的に読書活動が行えるよう、子どもの成長に応じた読書のきっかけづくりを進めて読書活動の習慣づけを図るとともに、読書を通して子どもの健やかな成長に資することを目的に、令和4年度～令和8年度までの計画策定を進める。令和4年1月にパブリックコメントを実施する予定である。

4、ふうれん地域交流センター南側の駐車場造成について

J A道北なよろから、ふうれん地域交流センター南側の隣接地について共同駐車場の申し入れがあり、J A道北なよろが事業主体として駐車場造成を実施し、費用負担割合を現在の正面駐車場と同じ割合で協定書を締結する。

5、第3回定例会補正予算について

【3】総合政策部所管事業について

1、王子マテリア名寄工場の状況報告

王子マテリア名寄工場の2号マシンを9月10日に停機する予定であるとの正式回答が、8月20日にあった。工場跡地の活用等についての進捗状況はない。

2、第3回定例会提案補正予算について

【4】総務部所管事業について

1、報告事項について

(1) 総務課

ア デジタル庁設置法及びデジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

(2) 市史編さん室

ア 新編・名寄市史（仮称）編さん綱領について

新名寄市の平成の歩みを検証的に振り返り、今日の郷土をより深く理解するために、史実に基づいた客観的な市史を目指し新たな編さんを行う。

名称については、現在名寄市史編さん委員会にて協議中であるが、平成5年～令和4年の30年間を対象期間とし、B5版横書き一段組みの装丁で、800ページ前後、1500部の発行部数で令和7年3月の発行を予定している。

<質疑等>

Q デジタル化の中で発行部数1500部が妥当なのか。デジタル化も含めて再考する考えは。

A 検討していく。

(3) 総務部（デジタル推進担当）

ア 本市におけるDX（デジタル・トランスフォーメーション）推進の取り組み状況について

DXにおける職員の意識醸成、意識改革を目的に講習会を実施していく。また、自治体DX推進に関する若手職員のワーキンググループの設置や外部人材の活用について検討する。

(4) 総務部（防災担当）

ア 令和3年度名寄市防災訓練について

7月21日、名寄市広域防災訓練「WIT-aなよろ（課題を見つける物資輸送訓練）」と名寄市防災訓練を並行して実施した。

名寄市広域防災訓練「WIT-aなよろ（課題を見つける物資輸送訓練）」は、上川北部8自治体と陸上自衛隊及びヤマト運輸株式会社等の協力により訓練を実施、各自治体で保有している物資の共有化及び共有した物流の保管拠点の必要性について理解を深めた。また、名寄市防災訓練は風連地域の3町内会と名寄河川事務所、陸上自衛隊、名寄消防署の協力により避難訓練を実施した。

2、名寄市議会第3回定例会に係る総務部関係提案案件について

- ・ 条例改正
- ・ 補正予算について

所管調査について

【1】公共交通について

公共交通路線および公共交通の種類について、第7回総務文教常任委員会に引き続き名寄市全図を見ながら現況について確認し、課題と求められる姿について協議を行った。